

# 建築学科

京都精華大学 デザイン学部

## 建築家を育てる

建築家とは、単に「建築を設計する人」ではありません。都市、建築、空間から始まり人々の日常生活に至るまでの、より良い環境や状況について創造的な提案を社会に対して行う能力と姿勢を持ち合わせた人を建築家と呼びます。そのためには、建築を中心にした様々な関係する領域について考えるための知識、設計（デザイン）し、表現するための技術、また仕事に関係する人たちと円滑にコミュニケーションを、取りまとめあげる能力を身につける必要があります。したがって、学ぶ領域や身につける技術は多岐にわたります。

建築家になるための、これらの知識と能力を身につける教育を受けることによって、どのような職業にも求められる、問題に対する自由な視点からの新しいアイデアの発想力、目に見える形にする造形力、関係する人達と調整しながら動きをつくることのできるコミュニケーション能力を持つ人材を育成します。海外提携大学との国際的な教育環境と、古都京都の伝統的な建築資産を生かした、国際性と地域性を兼ね備えた学習環境の中で、建築家の素養を身につけます。



# セイカ建築

人と空間、空間とモノ、都市や環境  
それぞれの関係性を考えながら  
新しい社会や暮らしのあり方のデザインを学ぶ

## 学びのキーワードは 「デザイン」

建築コースでは、個人の住宅から商業ビル、公共施設、更には都市全体の計画までを学びの対象としています。空間をつくり出すことによって新しい社会や暮らしのあり方をデザインすることが、これからの建築に求められています。そのため、人と空間、空間ともの、都市や環境の関係性について考え、建築物を設計すると同時に、空間を構成するインテリアや家具のデザインにも取り組みます。

もちろん、一級建築士、二級建築士の受験資格が得られるカリキュラムが組まれています。自分のつくった住宅で家族が仲良くなる。そんな空間をつくり出すデザイナーがここから生まれます。

### 建築家の育成

専門的な知識と表現技術を実践的かつ  
国際的な教育活動を通して学ぶ

#### 身につく力 1

人間の身体、空間、建築、  
都市に関する知識。

#### 身につく力 2

現実社会の問題に対する  
企画力および実践的な表現力。

#### 身につく力 3

国際的なコミュニケーション能力と  
独創的なデザイン力。



# 1年次

## 人間の体と物や空間に関する知識・認識を深める

1年次では建築家を目指す第一歩として人と空間の関係性を理解し、空間デザインの知識と技術、チームでコミュニケーションをとりながら制作できる力が身につけます。また多種多様な講義にて図面、模型、絵画やコンピューターなどの基礎的な表現技術を身につけ、住宅、公園などのデザインを学びます。



# 2年次

## 形態や空間に思想や意味をもたせる方法を習得する

これからの建築には、空間を作り出すことによって新しい社会や暮らしのあり方をデザインすることが求められています。そのため、2年次からはより深く人と空間、空間ともの、都市や環境の関係性について考え、新しい風景をつくるような建築物を設計すると同時に、空間を構成するインテリアや家具のデザインにも取り組みます。



# 3年次

## 実践的なデザイン能力や企画力を習得する

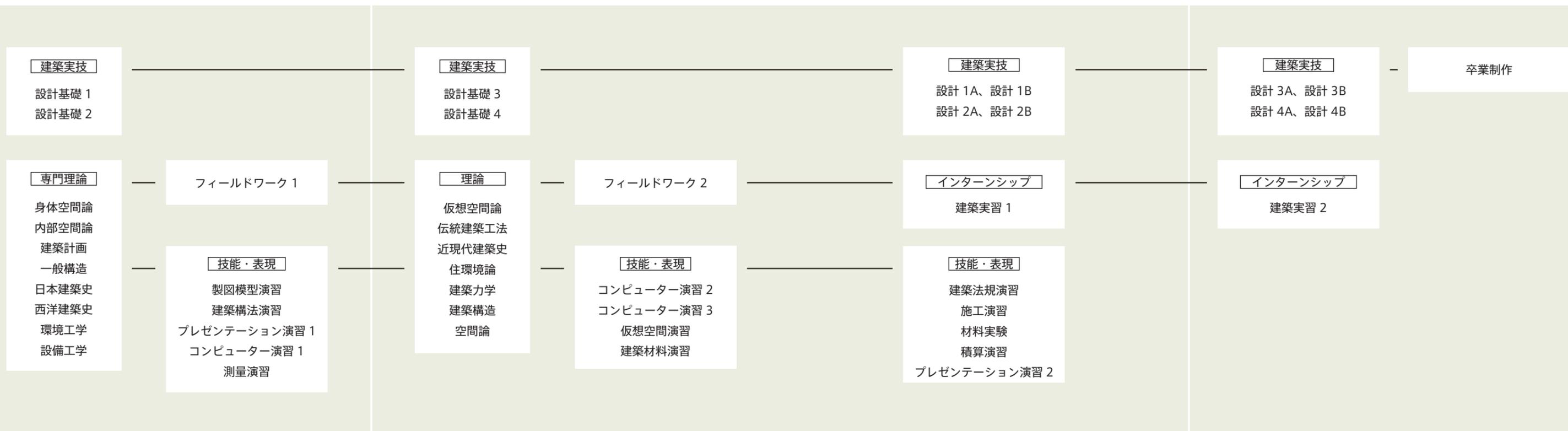
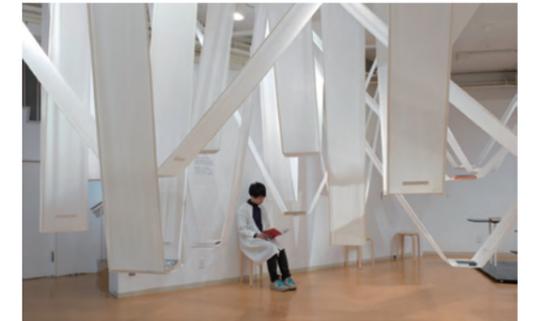
セイカ建築は「建築家の育成」を目標にしており、3年次からは現役の建築家でもある教員たちが主宰する建築スタジオに所属し、実際の現場で必要とされる建築哲学や思考法、問題を解決するための技法を間近で吸収できるスタジオ制で取り組みます。また学生たちが著名な建築家やデザイナーを招いて作品の講評をしてもらいます。



# 4年次

## 独創的で個性的なデザイン表現を追求する

4年次前期は3年次につづき、スタジオ課題に取り組み、建築、都市、人、インテリアなどの専門的なデザインをより深く追求し、高度な設計課題に取り組みます。後期からはこれまでに学んできた建築の知識やスキルを活かして自分の取り組みたい建築に対するテーマを定め、構想と検証を繰り返しながら卒業制作に取り組みます。



# 1年次

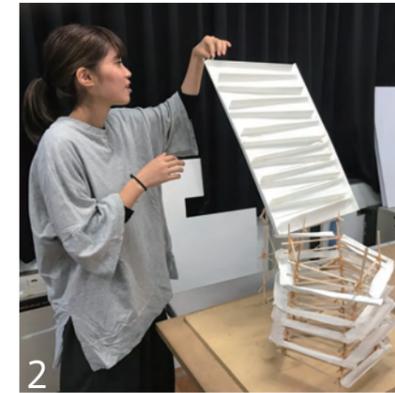
## 空間デザインの 基本を身につける

建築の基礎を学ぶ1年間。建築家になるために必要な基本をあらゆる側面から身につけます。

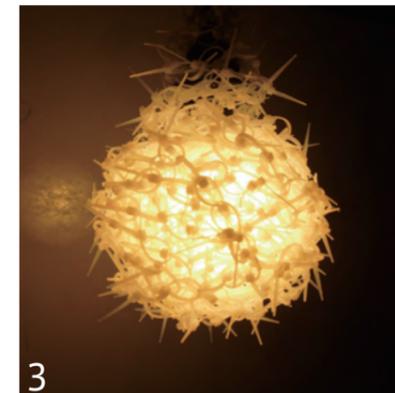
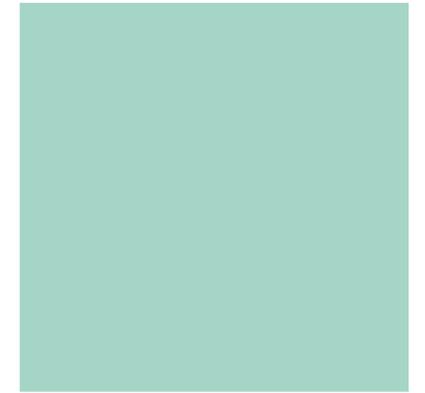
「設計基礎1」「設計基礎2」では、人と空間の関係性を理解して空間をデザインするために、人間の身体を基準に照明、家具、住宅、集合住宅、美術館と、少しずつ対象となる空間のスケールを大きくしていく課題に取り組みます。前期では、設計基礎と同時並行に「製図模型演習」では図面の描き方や模型のつくり方、「プレゼンテーション演習」ではプレゼンテーションの方法も学習。また後期からは「建築構法演習」で建築のデザインに不可欠な構法の根本的な考え方を学びます。英語で建築を学ぶ授業もスタートし、国際的な視野とコミュニケーション力を習得していきます。また理論に関しても、計画学、建築史、構造、設備など、それぞれの分野を専門とする先生から直接学び知識の幅を広げ建築の基本を身につけます。



1



2



3



4

1. プレゼンテーション演習
2. ビー玉ころがしコンクール
3. Lighting Fixture
4. Figure by Paper
5. 製図模型演習
6. 主人公の家
7. 集まって住む
8. 地中博物館



5



6



7

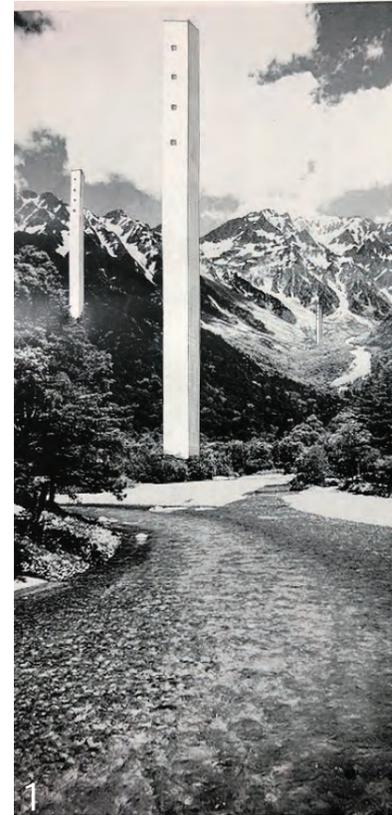


8

## 2年次

### 想像力をきたえ 空間の可能性を広げる

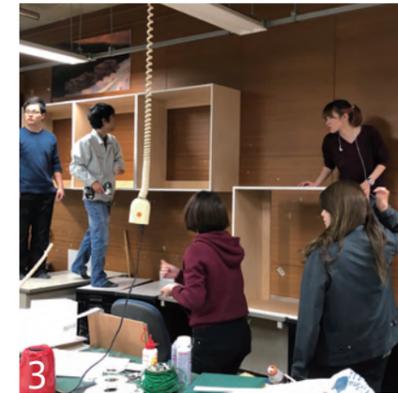
建築をデザインするということは、ただ建物を建てるということではなく、そこに暮らす人のことを考えて設計を行うことが必要となります。そのため、2年次の「設計基礎3」では、「公共性・社会性」などを考えながら環境を考えた作品を制作します。同時並行で英語で作品を発表する授業もあり、自らのアイデアを様々な形で伝える力を引き延ばします。「設計基礎4」では、未来におこるであろう状況を予測し、その時に建築デザインに求められる想像力をきたえる課題に取り組みます。また、理論の授業と同時に、「仮想空間演習」のように映画や小説の中に現れる空間のデザインを考える授業、「建築材料演習」のように実際の木工家具をデザインし製作する授業、1年次から続く「コンピューター演習」のように、2DCADや3DCADを使いこなすことを目的とした授業もあり、さまざまな視点から、空間や建築のデザインを考える1年間となります。単なる形態としての建築ではなく、実際に使う人の立場に立って空間や場所を想像し、その建築作品に目的や意味、思想をもたせながらデザインする力を伸ばします。



1



2



3



4

1. 新しい風景
2. 極端な状況の建築
3. 建築材料演習 -1
4. 建築材料演習 -2
5. 伝統建築構法
6. 大学のサテライトキャンパス
7. 公園
8. 小学校



5



6



7



8

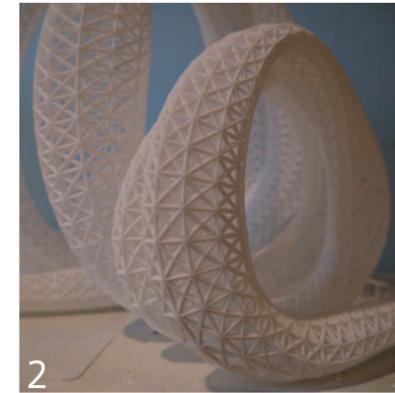
## 3年次

### 複数のデザイン領域から 興味のあるデザインを行う

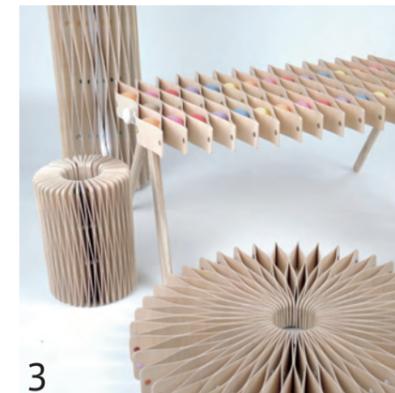
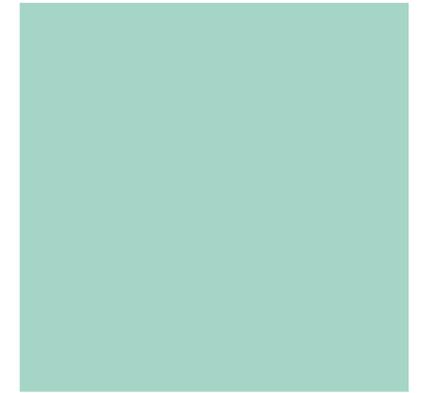
この学年から、より実践的なプログラムが登場します。最も特徴的なのが教員主催の建築スタジオに所属してプロさながらの環境でプロジェクトに取り組むスタジオ制の設計1、2。家具、インテリア、建築、まちづくりなどの領域のデザインを、第一線で活躍する建築家から直接指導を受けることでより深く、仕事に近いかたちで建築を学ぶことができます。同じスタジオ内のグループで議論や討論する機会もあり、交換留学生も交えて作品制作に取り組めます。制作した作品は中間発表やスタジオ内講評会を経て、学年全体の公開審査会オープン・ジュリーで発表します。学生たち自身が著名な建築家やデザイナーをゲストに招いて作品の講評を依頼するのというのも、京都精華大学建築学科ならではの特色です。また、他大学との合同講評会や社会と連携したプロジェクトでは、他大学の先生や学生、プロジェクト関係者と交流、意見を交換しながら、自らの建築やデザインを多角的に、また客観的に評価し振り返る力を養います。また、それぞれが必要とする技能や表現を高めるための演習にも取り組み、1、2年次よりさらに専門的な技術について学習します。



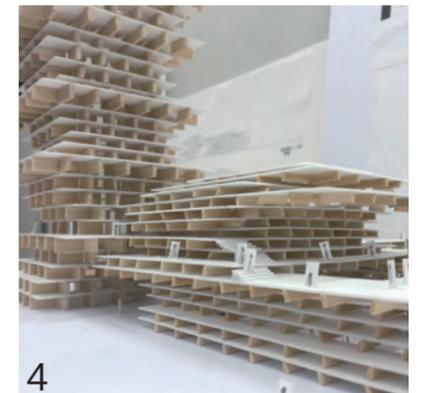
1



2



3

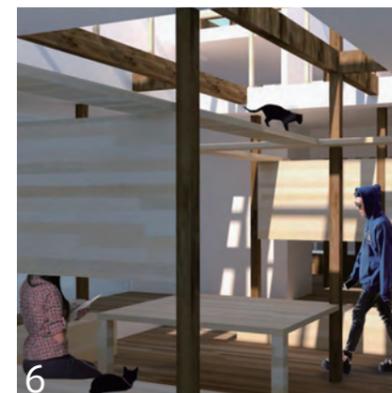


4

1. 新しい本棚
2. プレゼンテーション演習 2
3. 子どもの家具
4. 公園
5. 学生広場
6. アパートリノベーション
7. ビルの隙間プロジェクト
8. トンネルのコンバージョン



5



6



7



8

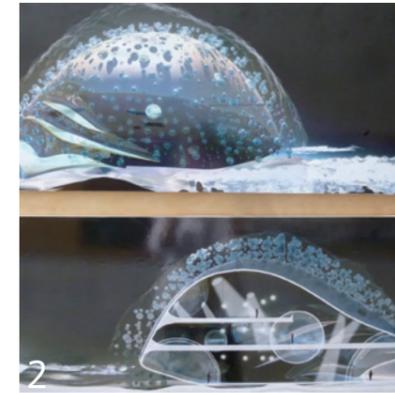
# 4年次

## ひとりの建築家として 作品を制作する

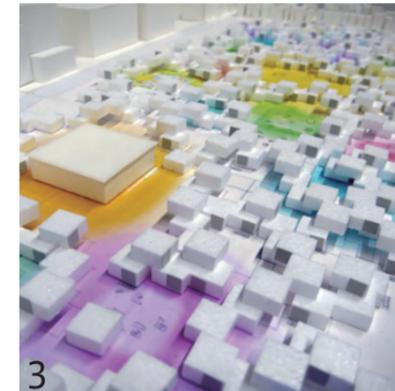
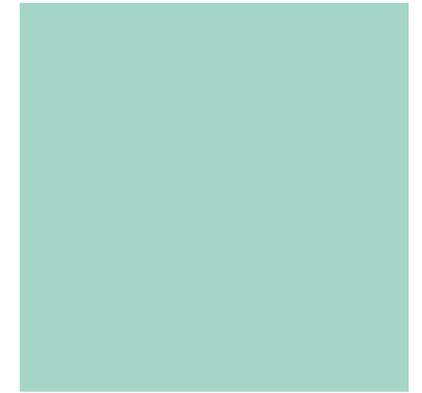
3年次に引き続きスタジオに所属し、「設計3、4」ではより専門的で高度な課題に、そして集大成としての「卒業制作」に取り組む1年間となります。卒業制作ではこれまでに学び、身につけてきた建築の知識やスキルを活かし、さまざまな空間のデザインに挑戦します。地域の活性化をめざしたまちづくりや、人びとが集う公園や公衆浴場の設計、なかには宇宙ステーションをデザインした学生もいます。個性や独創性あふれる作品ばかりですが、その空間のどれもが人びとの暮らしや未来の社会を想像してデザインされたもの。敷地、機能、テーマといった設定も各自で想定するので、建築やデザインを通して社会の課題を解決し、より良い世界を作りだすことについて真摯に取り組めます。卒業制作は学生生活の締めくくりであり、卒業後の方向性を探す場でもあります。それぞれが、ひとりの建築家として社会に羽ばたくことを意識し、自らの思いをこめた作品を提案します。



1



2



3



4

1. 新京都市庁舎
2. 未来の都市
3. DROP BY...
4. 児童養護施設
5. ホテル
6. 京都を着る
7. ホテルのインテリア
8. 湿潤礼讃



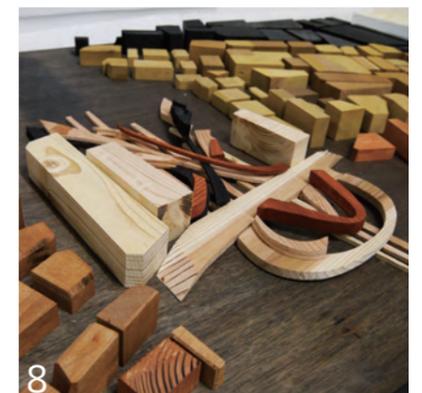
5



6



7



8

## ワークショップ イベント



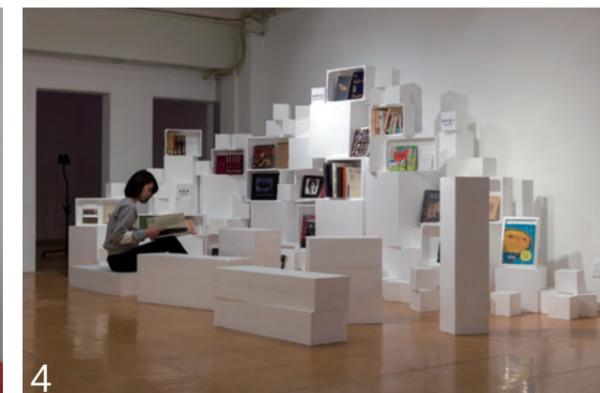
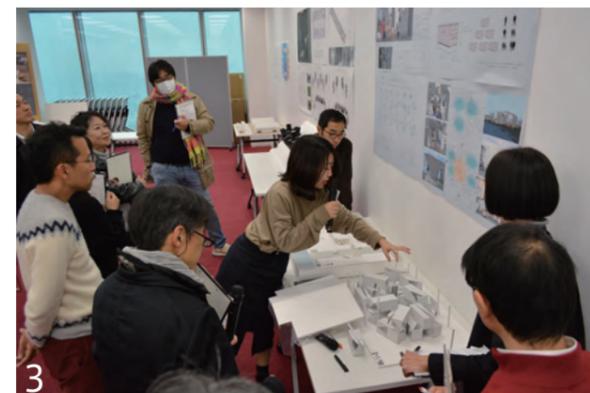
### 精華建築のデザインエッセンス

建築学科の特徴として、学内での勉強に留まらず、大学の垣根を超えた多種多様なワークショップや学生主宰のイベント、海外提携大学との合同演習や建築視察など、学外でも活動しています。課外活動を積極的に取り入れていくことで、社会に対して創造的な提案と自立した活動を行うことができるようになる、またデザインに関する各領域を超えて、さまざまな角度からの視点を持つことで新たな発想が生まれ、思考の可能性が広がることを狙います。



1. ジュリー
2. 新人歓迎会
3. BBQ 大会
4. 関西同窓会





京都精華大学建築学科では、年に数回実施するワークショップ、海外との交流授業、他大学との合同講評会や学外展示など、学科の垣根を飛び越えるような体験を得られ、建築を広い視野で学びます。また産学官連携プロジェクトとして、現実のデザイン業務を幅広く行っています。教員と学生有志でチームをつくり、実際にお客さんとの協議を経てデザイン業務を行うことで、社会との関わりや実践的なスキルを身につけています。

1. ピータークックワークショップ、2. 犬島ワークショップ 2017
3. ウッドベリー大学ワークショップ、4. アップスワークショップ
5. SFJ ワークショップ



学内ワークショップの他に建築学科では子ども建築デザイン教室など「建築を楽しむ事」を目的とした様々な課外活動を実施しており、それは当大学のみの活動に留まらず、他大学と課題を共有して共に取り組み学生作品講評会を開く、あるいは前期・後期のジュリーで選ばれた学生作品を学外で様々な人に見てもらおうと、小さなギャラリーで作品を展示するセイカ建築選抜展など、学外での発表や交流を大切にしています。

1. 子ども建築デザイン教室、2. セイカ建築選抜展
3. 関西建築系大学合同講評会、4. 「本の空間」会場展示制作
5. SDGs ベンチ





フィンランドやバウハウスなど、卒業後の国際的な活動を視野に入れた学習環境の中でグローバルなコミュニケーション能力の育成、他文化圏の発想や思考に触れ、造詣を深めることを目的とした海外での交流授業も積極的に開催しており、更に建築学科では年に1度有名建築家が実際に設計した建築を見学し、直に触れながら空間を実体験することを目的とした視察ツアーを開催しています。

1. フィンランドワークショップ、2. バウハウスワークショップ
3. ロサンゼルス建築視察ツアー、4. フランス建築視察ツアー
5. ヘルシンキ建築視察ツアー



### 究明館

究明館は建築学科専用の工房。木材や金属、樹脂など建築の設計などに欠かせない素材を加工する機材がそろっており、様々な制作物をつくることができます。

### スタジオ

教員の個人研究室には各スタジオが設置されており、実際の建築事務所のような環境で課題や打ち合わせに取り組むことが可能です。仕事をするうえで欠かせないチームワークや協調性がはぐくまれる空間です。



## 卒業生の メッセージ

建築家として必要な知識や技術とともに、新しい社会や人の暮らしを作り出す発想法や考え方が磨かれる建築学科。建築士の資格を取得し、建築事務所に就職する人、建築以外のデザイン領域に進む人、またクラスメイトらと一緒に建築事務所を立ちあげる人が多いのが、この学科の特徴です。

### 進藤 強

#### 株式会社ビーフンデザイン 建築家

在学中に考えて欲しいことは、今回の課題で何がしたいのか？何が必要か？何のために、なぜ？など自分なりに説明でき、他人に説得できるようにコンセプトを組み立てる訓練をして欲しい。またライバルは精華の生徒ではなく全国、世界の建築学科生でもあることを意識して外の世界を知る事。学生コンペ、設計事務所のオープンデスク、海外建築旅行、遊び、交流会、サークルなど何でも一生懸命「楽しく」する事。そんな人は社会で欲しい人材になれる。興味あれば皆さんもどンドン東京、弊社に遊びに来てください。

### 堀 真理子

#### アーティスト

建築をどう捉えるかは人それぞれかと思いますが、私の場合、空間についての考察とインスタレーション作品を通して建築をしている気分で居ります。京都精華大学で建築を学ぶ中、最終的な問いとなった卒業制作のテーマは自身の作品に於ける永遠のテーマとなりました。世の中にはそれを建築とは見なさない考え方もあるかもしれませんが、柔軟な先生方の元で建築物や空間についてだけではなく、世界観や時間などについても建築的な考え方ができる事、物事の幅広い捉え方を学べた事を幸運に思います。

### 佐藤 延弘

#### PULL + PUSH PRODUCTS プロダクトデザイナー

身の回りの風景やモノをじっくりと観察すると、日常に隠されていた美しい形や色が見えてきます。

つくることに焦らず、身近な暮らしの中に目を向けて、当たり前だと思うことも自分で一つひとつ時間をかけて「発見」していくことが大切だと思います。

### 山本 浩三

#### PANDA：株式会社 山本浩三建築設計事務所 主宰

スキナコトを見つけてください。次にスキナモノをつくって下さい。そのあと、なぜスキナのかを周りに理由を伝えて下さい。そして周りを巻き込んで下さい。

四年をかけて。



### 安藤 陵太郎 福本 祐樹 笠原 慎一郎

#### FHAMS

ややこしい人や苦手な人でも笑顔で挨拶とお礼ができるようになること。今、この瞬間のなかで、何が最も重要なことなのかを見つけ、そのなかで自分が出来る限りのことをすぐにやるようにすること。失敗し、あやまらないといけないときは、一刻もはやく相手にとってどうすることが最も大切なことなのか解答を持った上であやまれるようになること。人のつながりを自分なりに大事にすること。これが出来るようになったら絶対に成功します。簡単なようでなかなか出来ないけれど、遅くても良いので、ぜひ実践してください。

### 長谷川 健吾

#### 長谷川健吾建築設計事務所 代表

私はセイカ建築の1期生で、卒業後もそのままセイカ建築に残り何年も後進を見てきましたが、いま建築家として活躍しているセイカ建築卒業生たちは、振り返ると皆もれなく学生時分から衆に抜きんでいたし、皆もれなく必死に課題に立ち向かい、のめり込み、やりすぎていました。これがすべてを物語っているのではと思います。それほど大学で過ごす4年間は大切な時間なのだとあらためて感じています。みなさん、どうぞのめり込み、やりすぎてください。



### 新山 直広

#### TSUGI llc. (合同会社ツギ) 代表 / デザインディレクター

精華建築では「ものごとを整理し、考え抜く力」を学べたことが一番の財産でした。今はブランディングという全然違う分野で仕事をしていますが、実は建築を学んだことがすごく役立っています。分野は違えどクライアントが求めているものの本質を掴み、全体を計画しながらディテールを行ったり来たりする、これらのプロセスは建築とほとんど変わりません。建築家になることが絶対だと思っている学生さんも多いと思いますがそれだけが全てではありません。社会の変化や課題に対して建築という職能をフルに活かし、新しい建築家のスタンダードが、みなさんの中から生まれることを楽しみにしています。

### 大栗 恵

#### フォトグラファー

卒業後、写真を始めて10年程経った頃、写真評論家の故・平木収氏から「その独自の空間性と感覚は、建築を学んでいたことが影響しているのだろう」とお言葉をいただいたことがあります。その時に表現するという行為は体験してきた人生全てを、一秒たりとも無駄にしないということなのだと思います。精華大学で建築を学び身につけたことは今後も写真表現を通し、私の中に生き続けていくことでしょう。



### 川邊 公太郎 百々 祥人

#### +veve 家具デザイナー、インテリアデザイナー

人を幸せに出来て自分が楽しくなれるモノ・コトを良く探してみてください。楽しくないと感じていた事も、楽しいと思える部分を探すことで意外と面白い発見があるものです。

やってやれない事は無い、やらずには何もできないのだから。



## 建築を学ぶ、という事

建築を学びたい、建築家になりたい、建築士になりたい、と決意して、あるいは住宅デザイン、インテリアデザイン、いいかなあ、と建築関係の大学の門をたたく人へのアドバイスです。

日本にはたくさんの建築系の学科がありますが、ほぼすべての建築学科では、「建築士」という資格を取得するための勉強があります。ということは、どの大学を選んでも、建築士の資格を受験する権利があり、卒業後の試験で合格すればなれるのです。住宅系の学科でも同じです。この試験は主に構造・材料・設備の「理系」、法律・計画・歴史の「文系」、製図の「芸術系」、施工（実務的内容）の試験内容です。ということは、文系、芸術系の大学に入学しても、どの大学でも工学系の授業が待っていることになります。では、他に何が違うのか？それは、大学の「雰囲気」です。僕の独断で誤解を恐れずに言ってしまうと、

工学系は、まじめで固く、学問として建築研究を大事にやっています！みたいな雰囲気。

文系は、ゆったりと、おっとりとして、みんなで幸せを探しましょう！みたいな雰囲気。

芸術系は自由に伸びやかで活発に、楽しく新しいことを考えてやってみよう！みたいな雰囲気。

この事は、いろいろな大学を実際に訪問して、「雰囲気」や、「学生作品」を見てもらうと理解してもらえenと思います。キャンパスの雰囲気こそが、その大学の個性なのです。教育内容は文部科学省と国土交通省から細かな指示がでているので、あまり逸脱はできません。したがって、どの大学でも教育内容は同じように見えます。資格に関する教育内容や就職状況が同じであれば、後は4年間、どの大学で過ごすことが将来の糧になるのか、を判断基準にするべきだと思います。

結論です。どの大学を選んでも、建築デザイン、住宅デザインの基礎は必ず教わります。あとは、4年間で学んだ基礎を、どの方向に向けて職業として展開していくか、という、たくさんある選択肢を可能にしてくれるような大学であること。それは、学生作品を見て、その大学の卒業生が実際にどのような仕事を行っているか、から判断するしかありません。またどのような雰囲気の中で、大切な4年間を過ごすのかということ。オープンキャンパスに参加したり、実際に訪問したりして大学の雰囲気に触れたら、大学生活のイメージは伝わってくるでしょう。楽しく学ぶ大学生活を送ることができそうな大学を選びましょう。建築を学ぶことは、勉強する量が多い文、身につける技能・技術は大きくて、それができるようになったら楽しいことは確実です。4年間を過ごしていくと、知らず知らずのうちに、立体的な3次元での思考・発想や、異なる条件を調整する能力が身につくので、卒業後の実社会でも、その力を生かす場所は、たくさん、たくさんあります。大学進学、就職（会社への就社ではなく、どのような職業を選ぶか）、そして結婚など。全部自分自身で決めることで、それは本当に面倒でしんどいこと。自分のことは自分が一番よくわかっていないようにも思えます。でも、この状態の自分を客観的に楽しんでみながら、まわりの人のアドバイスを聞きましょう。そして一度選んだら、もう迷わないで、数年間進んでみましょう。

予想もしなかったような、素晴らしい出来事や人達に出会うことでしょう！

## 卒業後の進路

建築家として必要な知識と技術とともに、新しい社会や人の暮らしをつくり出す発想法や考え方がみがかれる建築コース。建築士の資格を取得し、建築事務所に就職する人、またクラスメイトらと一緒に建築事務所を立ちあげる人が多いのが、このコースの特徴です。

### 主な就職先

株式会社高松伸建築設計事務所 株式会社丹下都市建築設計 坂倉建築設計事務所 藤本社介建築設計事務所  
シーラカンスK&H株式会社 隈研吾建築設計事務所 IAO竹田設計 浅井謙建築研究所(株) 株式会社 類設計室  
(株) エー・アンド・エー総合設計 日建設計コンストラクション・マネジメント 株式会社小野設計

有限会社アライ・アーキテクト一級建築士事務所 有限会社スクール・アーキテクト一級建築士事務所

横内敏人建築設計事務所 満田衛資構造計画研究所 萬田隆構造設計事務所 アトリエ KUU

株式会社応用芸術研究所 一級建築士事務所イン・エクスデザイン 若林広幸建築研究所

Chandler Pierce Architect (NY) Klaus Roth Architekten BDA (Berlin)

伊藤忠都市開発株式会社 三井住友建設株式会社 清水建設株式会社 鹿島建設株式会社

三和建設(株) 住友不動産(株) 高松建設株式会社 大一建設株式会社 国土建設株式会社

ミサワホーム株式会社 三井ホーム株式会社 積水ハウス株式会社 (株) 一条工務店

大東建託(株) 株式会社フジヤ 福岡R不動産 株式会社アキュラホーム

株式会社スペース タカラスペースデザイン株式会社 株式会社 バウハウス丸栄

吉忠マネキン株式会社 株式会社博報堂 株式会社乃村工藝社 イケア・ジャパン株式会社

株式会社 船場 柏木工株式会社 北斗製材工業(株) 荒川木工株式会社 株式会社GK京都

(株) サン・アド (株) インターオフィス (株) 明新社 株式会社岡村製作所 ニュー・印刷株式会社

(株) 電通クリエイティブフォース ラルフローレン株式会社 クレアプランニング株式会社 (株) イノブ

ニフティ株式会社 アッシュ・ペー・フランス(株) 株式会社 アマナデザイン 株式会社リースエンタープライズ

沖縄県工芸振興センター パナソニックESエンジニアリング(株) (株) LIXIL (株) アシックス 大光電気(株)

プラス株式会社 パナソニックリビング近畿株式会社 京都市住宅供給公社 (株) ナムコ 株式会社 カブコン

## 所属講師



高松 伸 客員教授



株式会社高松伸1級建築士設計事務所 代表。1980年代にポスト・モダンの建築家として頭角を現し、機械を連想させるメタリックなデザインにおいて本領を発揮する。



フクサス 客員教授



マッシミリアーノ・フクサス。ローマ大学を卒業後、パリに進出し大躍進を遂げた事で知られる建築家で、大胆かつダイナミックな造形を得意とする。



葉山 勉 教授



スクール・アーキテクト1級建築士事務所代表。建築設計、インテリアデザイン、家具デザイン、まちづくりコーディネートを専門分野とする。



新井 清一 教授



南カルフォルニア建築大学にて修士課程を修了。アライ・アーキテクト1級建築士事務所代表。建築、都市計画、インテリアを専門分野とする。



高松 樹 准教授



高松伸建築事務所に勤務。A.L.X. 共同主宰を経て koseki architects office を設立。建築設計、インテリアデザイン、家具デザインを専門分野とする。



川上 聡 特任講師



LEGORRETA+LEGORRETA にて、主に設計デザインを担当。後に SATOSHI KAWAKAMI ARCHITECTS を設立。建築設計を専門分野とする。



竹下 和美 助手



京都精華大学美術学部テキスタイル学科卒業。後に奈良県立高等技術専門校家具工芸科をついで卒業し、家具デザインを得意としながら究明館で様々な助手を務める。

有馬 徹  
NerdOverclouded  
Design Associates & Office GP

植松 智彦  
(有) マウンテンアーキテクト

内田 吉紀  
kirin design studio

海辺 しゅん  
コンピューター演習講師

大隅 安希子  
(株) イン・エクスデザイン

川崎 浩子  
インテリアデザイン論講師

小出 祐子  
研究者

幸家 太郎  
幸家太郎建築研究所

呉 鴻  
映像作家

後藤 直子  
プレイスラボ1級建築士事務所

才門 俊文  
才門俊文建築設計事務所

田中 篤  
一般構造講師

津田 朋延  
(株) sunia

堤 幸一  
有限会社 とーく

寺尾 文秀  
造工房

中西 ひろむ  
中西ひろむ建築設計事務所

長野 良亮  
長野良亮建築設計事務所

西川 達彦  
積算演習講師

花本 晋  
アライ・アーキテクト

平川 富実雄  
24d-studio

藤田 慶  
フジタケイ建築設計事務所

藤田 昌喜  
近江家具商人

古川 晋也  
モカアーキテクト

法澤 龍宝  
法澤建築デザイン事務所

松本 和美  
Flick

松本 和也  
松本和也建築工房アスク

松山 崇  
Architectural Design Office  
[hyphen]

元氏 誠  
有限会社 ワークショップ

八木 夕菜  
アーティスト

矢部 直輝  
(株) イン・エクスデザイン

吉野 真実  
魚谷繁礼建築研究所

渡邊 英治  
渡邊建築事務所



建築学科のホームページのご案内

『セイカ建築』で検索。

『<http://arc.kyoto-seika.ac.jp/>』へアクセス。

## セイカ建築

建築学科では、一級建築士、二級建築士の受験資格が得られるカリキュラムが用意されており、住宅から商業ビル、公共施設、さらには都市全体の計画といった人間を取り巻くあらゆる空間をデザインすることを学びます。この学科で大切にしているのは、その空間に暮らす人、空間を使う人を想像することや、その土地や地域がもつ歴史や背景を知ること。そして人と空間、空間とものの関係、都市や環境との関係性について考え、建築物や空間をデザインしていきます。3年次からは、現役の建築家である教員のスタジオに参加し、実際の建築プロジェクトに関わることで、社会で必要となる力を身につけられるのも特徴のひとつ。ほかにも1年次からスタートする英語で建築を学ぶ授業や、海外でのワークショップに参加するなど、建築を国際的な視点から学びます。セイカ建築は空間をデザインすることで、新しい社会や暮らしのあり方をつくり出す。これからの社会に求められる、生活空間を総合的にデザインできる建築家を育成します。

## 取得可能な資格

在学中、指定された科目単位を取得すれば、下記の受験資格を取得することが可能です。

- 一級建築士受験資格
- 二級建築士受験資格
- 木造建築士受験資格



